



## 1. 第25回全国大会・開催のご連絡（2017年10月7日(土),）

第25回全国大会は2017年10月7日(土)に、名古屋文理大学（愛知県稲沢市稲沢町前田365）で開催いたします。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。統一テーマは「情報教育と情報文化」です。以下、大会プログラムとなります。

（第25回全国大会会場（名古屋文理大学）へのアクセス：<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/information/access.html>）

<受付開始> 9:50～ FLOS ホール前

- ◆ 大会参加費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）  
（参事会員の大会参加費は不要、開催校の関係者は一律無料）
- ◆ 交流会費：5,000円（一般会員）、3,000円（学生会員）

<開会式> 10:20～10:30 FLOS ホール 挨拶：大会実行委員長/会長 須藤 修

## 2. 大会プログラム

<午前セッション> 10:30～12:00 \*各発表：30分（発表20分、質疑10分）

①統一テーマ「情報教育と情報文化」 会場：FLOS ホール  
（座長：松永公廣（名古屋学院大））

発表代表者（発表者）	発表者所属	発表題目
松田明里	名古屋文理大学情報メディア学部	情報系学部におけるサウンドプロジェクト教育の実践
小寺鋼志	名古屋文理大学情報メディア学部	学生によるVRコンテンツ作成プロジェクト
田畑恒平	京都産業大学	映像提示方法の差による身体的反応の違いについて

②「情報文化」 会場：F201 情報実習室

(座長：坂本眞一郎 (宮城大学))

発表代表者 (発表者)	発表者所属	発表題目
金本唯	金城学院大学国際情報学部	本土の若者の沖縄観 ～県民意識調査と本土若者意識調査の対比から～
寺嶋一将	岩手県立大学大学院	聞き書きによる地域的個性の抽出手法の提案
佐野昌己	文教大学	没入型ヘッドマウントディスプレイを利用した写真デジタルアーカイブの体験型化に関する研究

③「情報システム」 会場：F203 情報実習室

(座長：中野邦彦 (島根大学))

発表代表者 (発表者)	発表者所属	発表題目
本田正美	東京工業大学	政府情報システム刷新の検討と帰結
村館靖之	国立情報学研究所	言語と経済の進化システム論序説 -情報文化学の視点から-
符儒徳	開智国際大学	混合型システムにおける四領域モデルについて

<昼食休憩> 12:00~13:00

<役員会> 会場：F203 情報実習室 12:00~13:00

<基調講演> 会場：FLOS ホール 13:00~13:50

「プログラミング教育とVR (バーチャルリアリティ) の虚実」

講師 長谷川聡 (名古屋文理大学情報文化学部 教授)

<贈賞式> 会場：FLOS ホール 14:00~14:10

<総会> 会場：FLOS ホール 14:10~14:40

<午後セッション> 14:50~16:50 \*各発表：30分（発表20分，質疑10分）

④統一テーマ「情報教育と情報文化」 会場：FLOS ホール

（座長：平澤洋一（広島大学））

発表代表者（発表者）	発表者所属	発表題目
吉澤亨紀	名古屋文理大学情報メディア学部	小型ロボットによる小学生向けプログラミング教育の構築
岡睦美	金城学院大学国際情報学部	Family Learning の視点を取り入れた子どもの好奇心を育むワークショップの開発
田近一郎	名古屋文理大学	iPad を活用したプログラミング教育

⑤「自治体と情報」 会場：F201 情報実習室

（座長：本田正美（東京工業大学））

発表代表者（発表者）	発表者所属	発表題目
大室玖世	東京工科大学メディア学部	大河ドラマによる地方自治体にもたらす効果と展望
中野邦彦	島根大学	自治体広報紙のオープンデータに関する研究
渡辺優樹	名古屋大学大学院情報科学研究科	自治体オープンデータ推進のための防災啓発アプリの提案と試作 ～防災啓発のための 避難所情報のオープンデータ化～
矢神優	名古屋大学大学院情報科学研究科	尾三地区自治体におけるコミュニティバス情報の標準化に向けた課題と考察

⑥「情報と社会」 会場：F203 情報実習室

(座長：村館靖之 (国立情報学研究所))

発表代表者 (発表者)	発表者所属	発表題目
辻本篤	北海道大学	「ビジネス顕微鏡」とネオ・サイバネティクス
中村裕哲	愛知学院大学大学院	情報産業の成長戦略 —モノからサービスへのビジネスモデルの変化—
岸本真哉	東京工科大学メディア学部	ソーシャルゲーム産業の現状と今後の展望
福嶋佑太	東京工科大学メディア学部	仮想世界技術と経済効果

<閉会式> 16:50~16:55 会場：FLOS ホール 閉会挨拶 吉田友敬(名古屋文理大学 開催校代表者)

<交流会> 18:00~19:00: 会場を移して実施(場所は当日案内)

3. 「JICS 便り」名誉会長 片方 善治 —AI と共存するための知恵—

日進月歩の AI が、これからの社会や経済、産業に対して、どのような変化をもたらすだろうか。既にさまざまな分野で、飛躍的向上を予想させる動きを見せている。しかし、新しい価値や需要は生み出すことはない。AI は問題解決のツールで、目的に従って素晴らしい能力を発揮するが、目的を定めることができないからである。目的を与えるのはあくまで人間である。今後の社会に求められるのは、進化を続けるであろう AI と、それを活用していく人間との持続可能な共存である。この共存に欠かせない知恵は、情報文化学 (理念系・人間系・施設系) をよりどころにして、新しい未来像を創りあげていくことであることと思っている。会員の皆さんは、どのように考えているだろうか。